

2022 年度 知床五湖利用調整地区の運用結果について

(認定実績)

- ・ 開園期間通期 (4/20～11/8) の立入認定者数は 46,333 名 (前年比 98%)。平年との比較では 7 割程度の認定実績となった。
- ・ 春期植生保護期 (4/20～5/9) は 5,030 名 (前年比 162%)。平年との比較では同等程度またはそれ以上の認定実績となった。
- ・ ヒグマ活動期 (5/10～7/31) は 10,511 名 (前年比 146%)。平年との比較では 6 割程度の認定実績となった。
- ・ 夏期植生保護期 (8/1～11/8) の立入認定者数は 30,792 人 (前年比 84%)。平年との比較では 6 割程度の認定実績となった。

(ヒグマ遭遇状況等)

- ・ 通期では 113 件のヒグマ遭遇があり、植生保護期においては過去最多となった (ヒグマ活動期 48 件、植生保護期 65 件)。
- ・ ヒグマ活動期では過去 2 年と比較し同程度であったが、植生保護期については 9～10 月以降にヒグマとの遭遇が頻発したことで件数が増えている。なお、ツアー中止件数は 9 件 (前年 7 件) で、平年と同数程度。
 - ▶春期植生保護期 (4/20～5/9) : 1 件 (前年 0 件)。
 - ▶ヒグマ活動期 (5/10～7/31) : 48 件 (前年 43 件)
 - ▶夏期植生保護期 (8/1～11/8) : 64 件 (前年 12 件)

※利用調整地区制度導入以来、最多の目撃件数。
- ・ 開園期間を通して、利用者とヒグマの危険な遭遇事例などの報告はなかった。

(その他)

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策は、昨年度と同様に実施。
- ・ 5/1～5、7/16～18 の期間は、知床自然センター～知床五湖路線間でバスを増便。
- ・ 8/6～15、9/30～10/2 の期間は、シャトルバスが運行。
- ・ 7/30、駐車場内にヒグマ 1 頭が侵入する事案が発生。警戒態勢を敷き、現場スタッフにて利用者の安全確保、避難誘導を実施。事故や傷病などは無し。